

温故知新

日野歴史探訪

私たちの住む日野町には、52の大字があり、それぞれの地域が豊かな自然と歴史文化で彩られています。温故知新では、町内各大字の歴史と代表的な文化財をシリーズで紹介していきます。

中之郷の古文書

大字中之郷文書には、道の開削に関する文書が伝わっています。

鳥居平村と中之郷村はともに道路状況に課題をかかえており、両村を結ぶ新道の開削が望まれていました。

明治15(1882)年、中之郷・鳥居平両村が杣・杉・川原・原各村と協議を行い、県へ「新道開削願」を提出しました。翌、明治16(1883)年に工事許可を得ましたが、同年に発生した大干害や、その後の情勢を理由に延期せざるを得ませんでした。

その後、明治21(1888)年に、中之郷・鳥居平・杣・杉・川原・原の6か村が改めて新道の開削を計画しました。予定工費総額は760余円で、寄付金額を記した「道路改修篤志人名録」から、6か村の住民からの寄付だけでなく、中井源左衛門や鈴木忠右衛門など近江日野商人たちや旧永源寺町域の村々からも寄付があったことがわかります。

本道の区間を含む日野・市原(東近江市)間の道は明治中期ごろに整備され、道路状況は改善されていきました。

地域の人々のつながりや、近江日野商人が大切にしていた陰徳善事のころをうかがい知ることのできる史料です。

大字中之郷

大字中之郷は、佐久良川の中流に位置し、北は奥之池・杣、東は小野、南は奥師・鳥居平、西は佐久良と接しています。佐久良川中流域一帯とされる奥津保(奥野保)の中央に位置していることが地名の由来になっていると考えられています。

また、集落の北方には、中之郷と大字奥師の郷社である長寸神社があります。当社は、『延喜式』『神名帳』に記載のある蒲生郡「長寸神社」に比定されています。古くは山崎宮とも称され、「江州蒲生上郡奥野保山崎鰐口」の銘をもつ応永28(1421)年の鰐口(町指定文化財)が伝わっています。

中之郷に伝わる阿弥陀来迎図

阿弥陀如来は西方浄土の教主とされ、白雲に乗って人々を極楽浄土へ迎える図のことを、阿弥陀来迎図といいます。阿弥陀来迎図には、多数の菩薩を従える阿弥陀聖衆来迎図、阿弥陀のみを描いた阿弥陀独尊来迎図、観音、勢至の二菩薩を脇侍

として従える阿弥陀三尊来迎図などの種類があります。

中之郷区に伝来する阿弥陀来迎図は、中央に阿弥陀、下左右に二菩薩を配した三尊来迎図で、南北朝時代の作です。鎌倉時代以降の来迎図は早来迎と呼ばれ、浄土から迎えに来る早さを意図したものが多くなります。本図も、白雲が流れるように描写され、その意図を表現しているといえます。

本図は、往時の流行をとらえた、南北朝時代の貴重な作品として、昭和51(1976)年に町指定文化財となりました。

(中之郷区絹本著色阿弥陀三尊来迎図)



観音堂の4軀の仏像

正住寺跡と伝えられる観音堂には、

十一面観音立像、不動明王立像、毘沙門天立像、地藏菩薩立像の4軀の仏像が伝わっています。

平安時代の作と考えられる十一面観音立像と両脇侍の不動明王立像・毘沙門天立像は、いずれも後世に補修の手が入っており、補作によって大切に受け継がれてきたことがわかります。中でも毘沙門天像が踏み付けている邪鬼は、平安時代当初のままで、古仏の様相を今に伝えています。

地藏菩薩立像は、前後に二材製とする寄木造の像です。平安時代末期の特徴である穏やかな雰囲気を持ちながらも、やや険しい表情や衣文の表現から、作風の変化もみられ、鎌倉時代初期の作と考えられています。

(観音堂木造地藏菩薩立像)





みんなのとしょかん



本の紹介

『母にはなれないかもしれない』

産まない女のシスターフッド

若林理央／著 旬報社

子を産むことに対して「産まない・産めない・産みたくない」という思いを持つ女性たちへのインタビューと、著者が「産まない」選択をするに至った考えが綴られています。子を産むことに対するさまざまな価値観について考え認め合うきっかけとなる一冊です。



12月							1月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
						1			1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
23/30	24/31	25	26	27	28	29	27	28	29	30	31		
●…休館日 ○…えいが会 ◇…託児サービス							■…おはなし会 □…おひざでだっこのおはなし会						

◆問い合わせ先 日野町立図書館
☎0748-53-1644

図書館からのお知らせ

○返却ポストをご利用ください

図書館の玄関横に、閉館しているときに本やCD・DVDなどを返却するためのポストがあります。左側にある幅の広い口が本・雑誌の返却口で、右側にある幅の狭い口がCD・DVDなどの返却口です。CD・DVDなどは破損しないよう、緑色の貸出袋に入れてお返しください。借りた中の1枚だけを返すなど袋に入れられない場合は、開館時間中にカウンターにお返しください。また、ほかの図書館から借りた本は、ポストではなくカウンターにお返しください。

行事予定

※行事・サービスは中止する場合があります。

「おはなし会」 12月7日(土)、14日(土)、28日(土)
11:00～(15分程度)

「おひざでだっこのおはなし会」
12月21日(土) 11:00～(20分程度)
3歳くらいまでの親子を対象に絵本や手遊び、わらべうたなどをしています。

「託児サービス」 12月11日(水)、18日(水)10:00～12:00
0歳から3歳のお子さんが対象です。

「えいが会」 12月15日(日) 14:00～『星に語りて』
2019年/日本(119分)

まさか2か月で連絡があるとは思わず、正直びっくりしました。骨髓バンク事務局の方に伺うと、短期間での合致は確かに珍しいようです。こんな私でもどなたかの力になれるかもしれない、こんな機会を与えていただいたことへの感謝と、必ずやドナー提供を成功させたいという思いが込み上げてきました。

10月23日(水)、私の携帯電話に「(日本骨髓バンクからのお知らせ) あなたと患者さんのHLA(ヒト白血球抗原)型が一致し、ドナー候補者に選ばれました」とメッセージが来しました。実は、8月下旬に日野町役場で実施された献血会場にて骨髓バンクドナー登録をしたことによる、ドナー合致の連絡だったのです。

青雲之志

～町長コラム～

日野町長 堀江 和博

骨髓バンク ドナー候補者に

私にこのような機会を与えていただいたのは何か意味があるかもしれない。日野町を含む県内自治体では、ドナーに対する助成制度もご用意しています。自身の体験を通じて、多くの方々に骨髓バンクの存在を知っていただき、安全にドナー登録や提供をいただける環境であることをお伝えしていきたいと思っています。

私が登録をしたきっかけは、「滋賀骨髓献血の和を広げる会」の片岡会長と後藤日野町議からのご案内です。もしもお声掛けがなければ、このようなことになることはありませんでした。少しのお声掛けが誰かの命を救うことにもなる、まさに「命のリレー」とも呼べる啓発活動に頭が下がる思いです。

スケジュールとしては、これから病院での検査などのやりとりが複数回あり、最終的には提供まで3～4か月かかるようです。一般的にドナーが見つかる確率は他人の場合で数百～数万分の1とされ、仮に候補者となっても、本人や家族の同意、仕事や家庭の都合、健康診断結果などによって、最後まで至らない例も多々あるようです。